

# 数学 ～ 正の数・負の数 ③ ～

学習日： 月 日 名前：

## 【テーマ】正負のたし算

### ポイント

#### ●同じ符号（味方）のたし算

$(-3) + (-6)$  を計算してみます。

#### ①符号をチェックして味方が敵か確かめます。

$-3$  も  $-6$  も どちらも負の符号（-）がついているので、味方同士ですね。

#### ②味方同士であればたし算、敵なら引き算をする。

$$\begin{aligned} (-3) + (-6) &= - (3+6) \quad \leftarrow \text{味方の符号（-）をつけて、たし算をする} \\ &= -9 \end{aligned}$$

#### ●ちがう符号（敵）のたし算

$(-2) + (+5)$  を計算してみます。

#### ①符号をチェックして味方が敵か確かめます。

$-2$  と  $+5$  は 符号が違うので、敵ですね。

#### ②おたがいが敵なので、引き算をします

$$\begin{aligned} (-2) + (+5) &= + (5-2) \quad \leftarrow \text{絶対値の大きい数（5）から引きます。} \\ &= +3 \quad \text{前につく符号も絶対値が大きい方の} \\ &\quad \text{符号（+）です。} \end{aligned}$$

### 基本

①  $(-7) + (-1) =$

②  $(-5) + (-4) =$

③  $(+3) + (+2) =$

④  $(-7) + (+3) =$

⑤  $(+8) + (-4) =$

⑥  $(-2) + (+9) =$

### チャレンジ！

$$(-2) + (+4) + (-5) + (+3) =$$

# 数学 ～ 正の数・負の数 ④ ～

学習日： 月 日 名前：

## 【テーマ】正負のひき算

### ポイント

★引き算はたしざんに直す！

★たしざんに直したら、すぐ後ろの符号を逆にする！

●  $(-8) - (-3)$  を計算してみます。

① まずは引き算をたし算に直します。

$$(-8) + (-3) \quad \text{※このまま計算してはだめですよ！}$$

② 次に引かれる方の数字（すぐ後ろの数字）の符号を反対にする。

$$(-8) + (+3)$$

③ 計算する

-8と+3はちがう符号（敵）になるので

$$\begin{aligned} (-8) + (+3) &= - (8-3) \quad \leftarrow \text{絶対値の大きい数(8)から引きます。} \\ &= -5 \quad \text{前につく符号も絶対値が大きい方の} \\ & \quad \text{符号(-)です。} \end{aligned}$$

### きほん 基本

①  $(-7) - (-1) =$

②  $(-5) - (-4) =$

③  $(+3) - (+2) =$

④  $(-7) - (+3) =$

⑤  $(+8) - (-4) =$

⑥  $(-2) - (+9) =$

### チャレンジ

$$(-3) - (-7) - (+8) - (-3) =$$